

## 令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

### 団体名

NPO 法人 埼玉ハンノウ大学

### 活動のテーマ

レトロモダンタウン飯能 歴史建築保存プロジェクト

### 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・パネル展(写真展)開催準備
  - 会場選定・使用申請、スケジュール調整、ポスター・チラシ制作
- ・11/10(金)シンポジウム「レトロモダンタウン飯能」開催準備
  - 会場選定、スケジュール決定
  - 基調講演演者、シンポジストの選定、依頼(承諾済み)
  - 飯能市長へのゲスト登壇依頼(承諾済み)
  - 宣伝対策:ポスター・チラシ制作、ホームページ予約受付開始、SNS 宣伝
- ・まち歩きマップ制作開始(10月下旬完成予定)

### 今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

- ① 11/2(木)~3/10(日)パネル展(写真展)開始(巡回展・WEB展示および人気投票)  
巡回展会場:市民活動センター交流ひろば、西武鉄道・池袋駅(交渉中)、西武飯能ペペ(交渉中)、マルトクカフェ、旧・飯能織物協同組合事務所棟および蔵
- ② 11/10(金)シンポジウム「レトロモダンタウン飯能」  
基調講演「なじんだ風景や環境を次世代につなぎたい」  
津村 泰範(長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 准教授)  
パネルディスカッション「レトロモダンタウン飯能構想を語ろう!」  
パネラー(登壇者):津村 泰範(長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 准教授)  
小室 舞(マルトクカフェオーナー)  
室岡 貴夫(飯能市役所建設部建築課)  
吉野 信明(飯能信用金庫 地域支援部 地域活性化推進グループ)  
小野 まり(NPO 法人埼玉ハンノウ大学 学長)  
コメンテーター: 浅野 正敏(建築家)  
ファシリテーター: 大竹 悠介(西埼玉暮らしの編集社代表)
- ③ 歴史まちづくりゼミ「レトロモダウンタウン飯能・中心市街地に残る歴史的建造物探訪」(仮)
  - ・第1回 11/11(日)、第2回 11/25(土) 各回定員10人(予定)
  - ・案内人 浅野 正敏(建築家)
- ④ 「はんのう歴史建物めぐり お散歩マップ」配布開始(11月~)
  - ・10月下旬完成予定(1,000部印刷見込み) ・市内各所に配架、市民・観光客へ配布開始
- ⑤ 飯能市中心市街地における建物、および景観に関するアンケート調査(11月~)



## 活動に至る経緯

都心から電車でも車でも1時間足らずとアクセス良好ながら、緑ゆたかで自然の美しい「森林文化都市」として知られる埼玉県飯能市。その中心市街地周辺には、江戸時代から昭和初期にかけて栄えた林業や織物業にちなむ古い建造物が数多く残っています。近代日本の地域歴史と文化を今に伝える貴重な存在であると同時に、地元市民に愛される街のシンボルであるこれらの建物は、近年、老朽化や維持資金不足、後継者不在などの理由から残念ながら取り壊され、急速に数を減らしています。



旧・飯能織物協同組合事務所棟

そこで私たちは、飯能まちなかの歴史建築の保存・活用を通じて歴史遺産を未来へつなぎ、地域の活性化をめざすプロジェクトとして「**レトロモダンタウン飯能構想**」を提言しました。本構想のキーワード以下は3点です。

- ① 未来へつなぐ飯能市の歴史遺産
- ② 歴史的建造物の再利用と地域活性化
- ③ SDGs（産学官民連携によるパートナーシップ）でまちなみ保存

本活動は、市民の力で資金を集めて歴史的建造物や自然景観を買い取ることで半永久的にこれを守るイギリスの「**ナショナル・トラスト運動**」をモデルとしています。

なお、本年度予定する活動（パネル展、シンポジウム、歴史まちづくりゼミ、散策マップ制作・配布）は秋以降（後期）に集中しているため、前期（4月～9月）はその準備作業と、具体的な建物の保存・活用に向けた各方面とのやり取りを中心に活動しました。

## 9月までの活動の進捗状況と今後の活動計画

前述のとおり、前期（4月～9月）は後期に実施する以下事業の準備・各方面への調整を中心に活動しました。

- ① 11/2（木）～3/10（日）パネル展（写真展）開催（巡回展・WEB展示および人気投票）  
巡回展会場：市民活動センター交流ひろば、西武鉄道・池袋駅（交渉中）、西武飯能ペペ（交渉中）、マルトクカフェ、旧・飯能織物協同組合事務所棟および蔵
- ② 11/10（金）シンポジウム「レトロモダンタウン飯能」@はんしんホール（飯能信用金庫本店9F）  
基調講演「なじんだ風景や環境を次世代につなぎたい」  
津村 泰範 氏（長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 准教授） およびパネルディスカッション
- ③ 歴史まちづくりゼミ「レトロモダンタウン飯能・中心市街地に残る歴史的建造物探訪」（仮）  
・第1回 11/11（日）、第2回 11/25（土） 各回定員10人（予定）
- ④ 「はんのう歴史建物めぐり お散歩マップ」制作  
・10月下旬完成予定（1,000部印刷見込み） ・市内各所に配架、市民・観光客へ配布開始（11月～）

※①、②は、埼玉県、飯能市、飯能市教育委員会、（一社）奥むさし飯能観光協会、飯能商工会議所、飯能信用金庫、西武鉄道、飯能商店街連盟へ後援申請（最終確認中）。飯能日高テレビ、埼玉テレビ、埼玉新聞ほか各メディアへ宣伝協力要請済み。

- ⑤ 飯能市中心市街地における建物、および景観に関するアンケート調査  
・10月下旬完成予定 ・紙およびWEB回収

■準備会議の開催 : 4月14日、5月31日、8月30日、9月1日（織協蔵およびオンライン）

■メンバー内のやり取り : 団体内チャットツールにて随時

■ハウジングアンドコミュニティ財団 現地訪問および懇談会（9月13日）

■歴史的建造物の内部調査・写真撮影 : 9月2日 新川長旅館、9月4日 畑屋、9月8日 旧・小川医院  
（建物写真撮影、所有者の方と今後の保存・活用方法について相談）

## 活動写真

### ■ハウジングアンドコミュニティ財団 現地訪問および懇談会（9月13日）



懇談会の様子（織協・蔵にて）

当日は梅宮路子選考委員および財団事務局の皆様、ハンノウ大学が拠点とする旧・飯能織物協同組合事務所棟（国登録有形文化財）はじめ、徒歩圏内の近隣建物を見学いただきました。

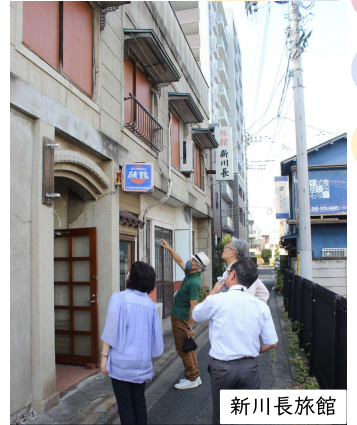
また、織協・蔵にて懇談会を行い、知られざる飯能の歴史的建物について、後期活動について、保存・活用の具体的なプロセスや今後の目標など、多くのご助言をいただきました。



飯能銀座商店街の看板建築



織協事務所棟2階



新川長旅館

### ■歴史的建造物の内部調査・撮影（随時）

所有者の方のご協力の下、歴史的建造物の現在の状態について随時調査を行っています。所有者の皆様のご意向もお伺いしながら、今後の建物保存・活用の方策について検討を始めているところです。

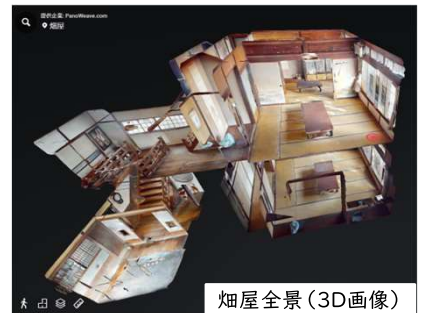
「旧・飯能織物協同組合事務所棟」および元・鰻割料理屋の「畑屋」については、内部の3D写真撮影を行い、立体可視化することに成功しました。これらの貴重な写真は11月から開催する写真展で展示するほか、将来的にはインターネット上で公開し、遠隔地からも歴史建築ツアーが楽しめるようにするなどの活用方法を模索しています。



所有者の方のお話を聞く



畑屋内部（3D撮影）



畑屋全景（3D画像）

## 制作物（デザイン未確定含む）

市民・観光客向け散策マップや、各イベント広報のための印刷物を鋭意制作中です。



はんのう歴史建築めぐりお散歩マップ（仮）  
1000部、A3・2つ折り、地図+解説付き  
飯能市内各所へ配架予定（10月末～順次）



シンポジウムチラシ  
500部、A4両面  
市内各所にて配布、SNS宣伝



写真展ポスター  
B1・30部、片面  
市内各所へ掲示、西武線駅も予定